

24.2.2 スクリーンショット

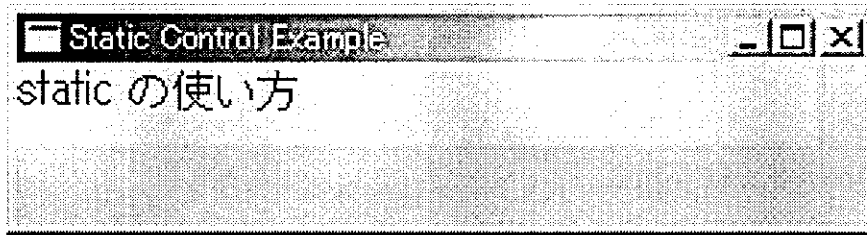


図 24.1 Static コントロールの実行例

24.3 .NET: Label

24.3.1 説明

Label コントロールは、ユーザーが編集できないテキストを表示する。

以下、.NET Framework 開発者ガイドより抜粋。

Windows フォームの Label コントロールを使用すると、ユーザーが編集できないテキストまたはイメージを表示できます。Label コントロールでは、フォーム上のオブジェクトを識別します。このコントロールを使用して、特定のコントロールをクリックしたときの動作を記述したり、アプリケーションの実行時イベントやプロセスに応じた情報を表示したりできます。Label コントロールはフォーカスを受け取ることができないため、Label コントロールを使用して他のコントロールのアクセス キーを作成できます。

24.4 Visual Basic 6: Label

24.4.1 説明

ラベル コントロールは、ユーザーが直接変更できないテキストを表示するコントロールである。

24.5 GTK+: GtkLabel

24.5.1 説明

少量ないしは少し多いテキストを表示する表示要素である。

24.5.2 スクリーンショット

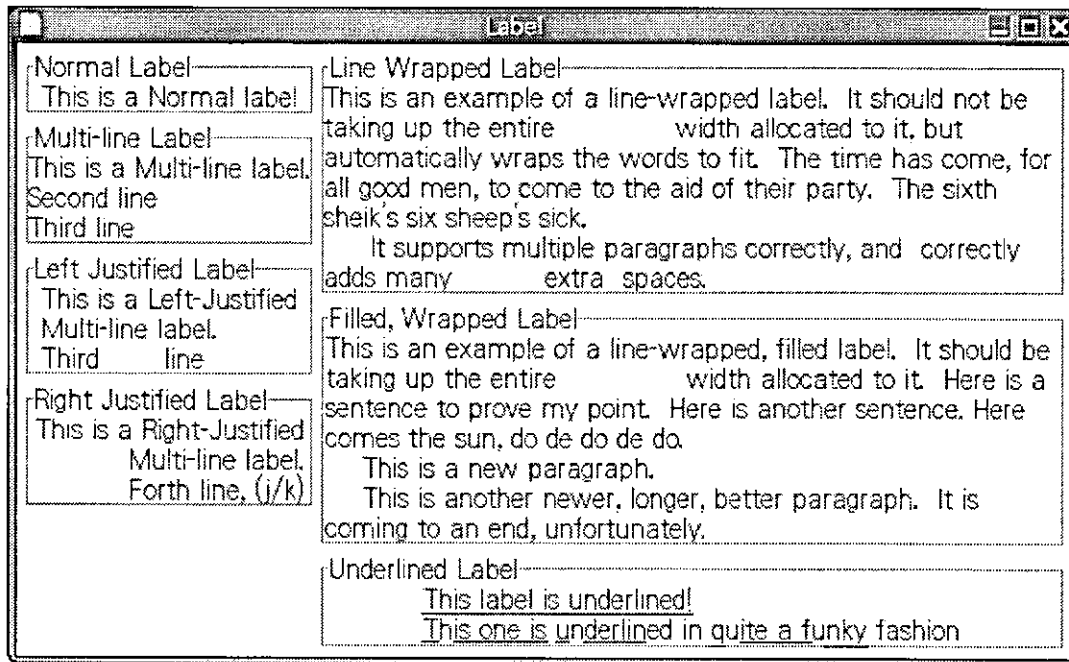


図 24.2 GtkLabel の実行例 (GTK+ 2.0 チュートリアルより)

24.6 Qt: QLabel

24.6.1 説明

QLabel は静的なテキストやイメージを表示するのに使う。ラベルの見た日は変更することができる。また、他のユーザーインターフェース要素のフォーカスアクセラレータキーを指定するのに使うこともできる。

24.6.2 スクリーンショット

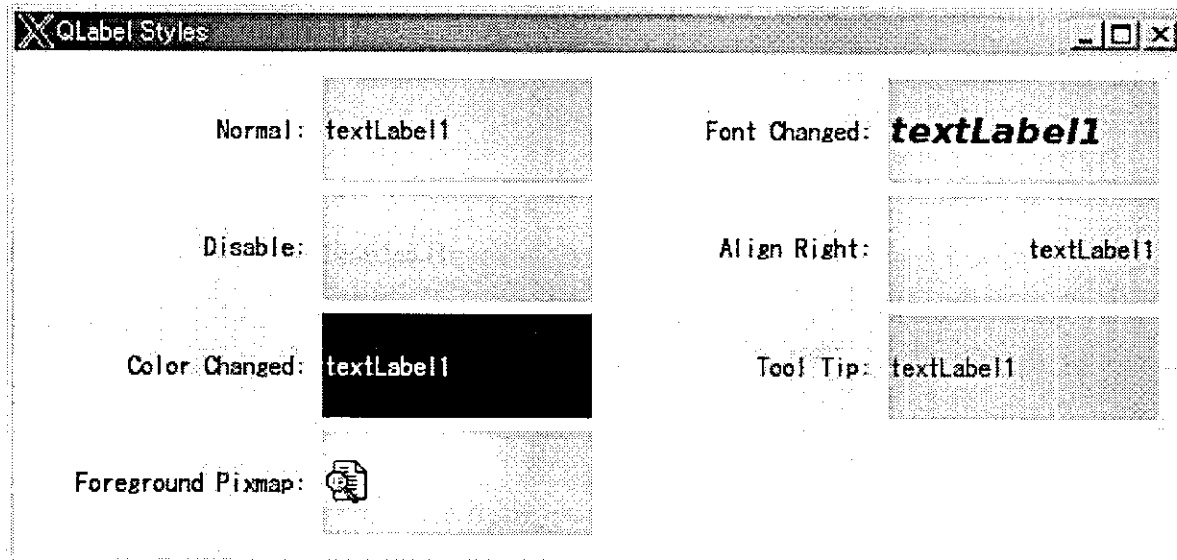


図 24.3 QLabel の実行例

24.7 Swing: JLabel

24.7.1 説明

短いテキスト文字列やイメージの表示領域。

24.7.2 スクリーンショット

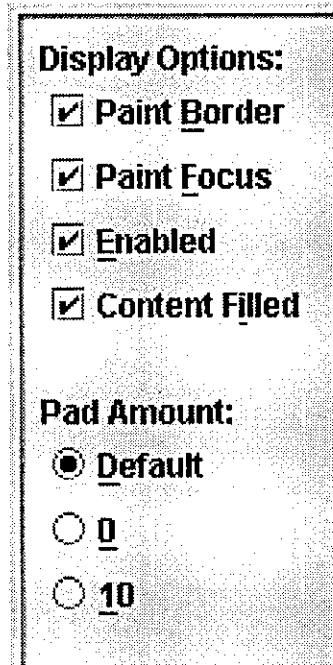


図 24.4 JLabel の実行例 (SwingSet2 の実行結果より) (“Display Options:” と “Pad Amount:” が JLabel)

24.8 HTML: <LABEL>

24.8.1 説明

<LABEL>タグは、フォーム部品と項目名 (ラベル) を関連付ける。

24.9 XForms: <xforms:output>

24.9.1 説明

<xforms:output> タグはフォーム上で文字列をひょうじすることを想定したタグである。

ただし、これを一般に言うラベルで表現するかどうかは実装者の解釈に依存する。

Chiba では、<xforms:output> とすると外観がラベルのようになる。

24.9.2 スクリーンショット

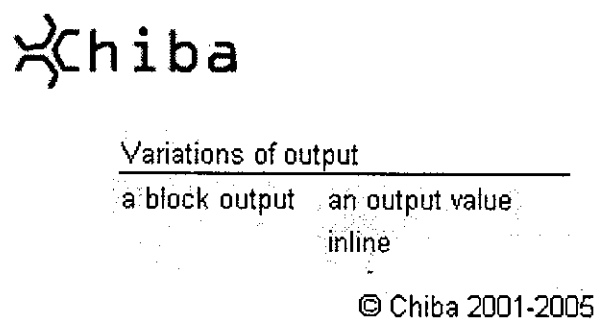


図 24.5 <xforms:output>の実行例 (Chiba のサンプル実行画面より)

第 25 章

リンクラベル

25.1 概要

プラットフォーム	ツールキット	コントロール
Windows	Windows Controls .Net Windows Forms Visual Basic 6	SysLink LinkLabel Inet
Mac OS X	Carbon Cocoa	
X11R6	GTK+ GNOME Qt KDE	GtkTextTag GnomeHRef UrlOperator KURLLabel KActiveLabel
Java	AWT Swing SWT	HyperlinkListener
Mozilla	Gecko	
Web	HTML XForms	<xforms:output appearance="anchor">

25.2 Windows Controls: SysLink

25.2.1 説明

SysLink コントロールは、ウィンドウ内のテキストに埋め込まれたハイパーリンクを簡便に扱うためのコントロールである。

25.2.2 スクリーンショット

図 25.1 Syslink コントロールの実行例

25.3 .NET

25.3.1 説明

ハイパーリンクを表示できる Windows ラベル コントロールを表示する。LinkLabel コントロールは、テキストを Web スタイルのリンクとして表示し、ユーザーが特定のテキストをクリックしたときにイベントを発生させる。通常、このテキストは他のウィンドウまたは Web サイトへのリンクである。

以下、.NET Framework 開発者ガイドより抜粋。

Windows フォームの LinkLabel コントロールを使用すると、Web スタイルのリンクを Windows フォームのアプリケーションに追加できます。LinkLabel コントロールは、ラベル コントロールを使用できるすべての項目に使用できます。テキストの一部をオブジェクトや Web ページへのリンクとして設定することもできます。

25.4 Visual Basic 6: Inet

25.4.1 説明

(ちょっと違うか?)

HTTP と FTP を扱うコントロールである。

25.5 GTK+: GtkTextTag

25.5.1 説明

25.5.2 スクリーンショット

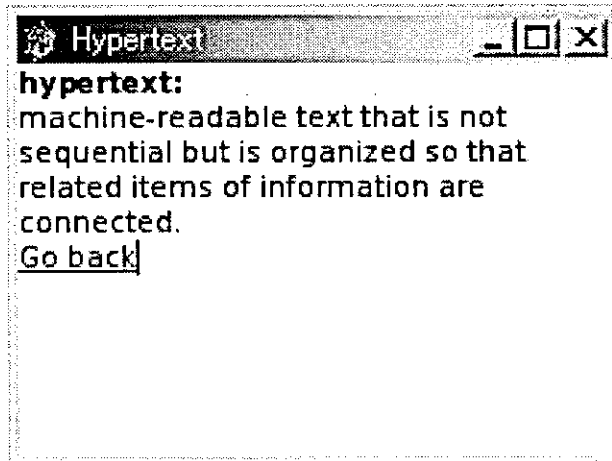


図 25.2 GtkTextTag の実行例 (gtk-demo の実行結果より)

25.6 Gnome: GnomeHRef

25.6.1 説明

は、ウェブページへのリンクを作成するコントロールである。

25.6.2 スクリーンショット

図 25.3 GnomeHRef の実行例

25.7 Qt: QUrlOperator

25.7.1 説明

URL の一般的な操作をする。URL の文字列をパースする操作を提供する QUrl クラスもある。

25.7.2 スクリーンショット

図 25.4 QUrlOperator の実行例

25.8 KDE: KURLLabel, KActiveLabel

25.8.1 説明

KURLLabel はクリック可能な URL リンクの作成を支援する。KActiveLabel は、選択やクリックが可能なラベルである。

25.8.2 スクリーンショット

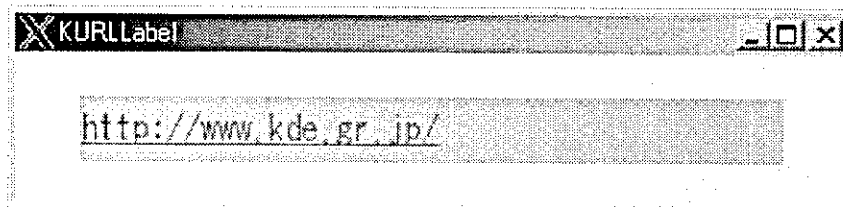


図 25.5 KURLLabel の実行例

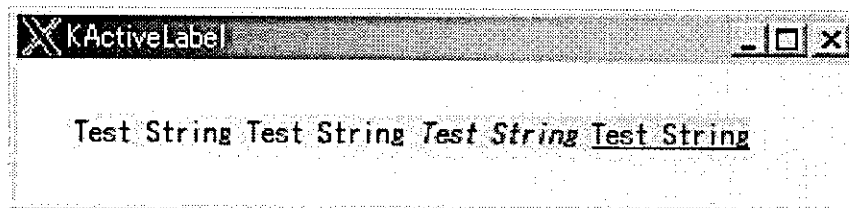


図 25.6 KActiveLabel の実行例

25.9 Swing: HyperlinkListener

25.9.1 説明

ハイパーリンク用のイベントリスナーインターフェースである。

25.9.2 スクリーンショット

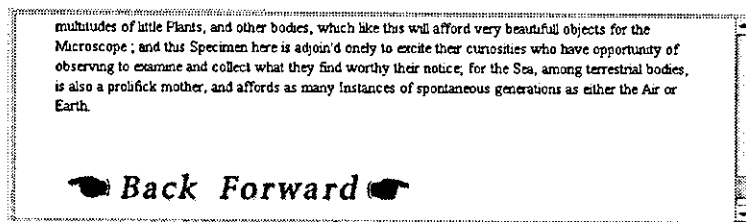


図 25.7 HyperlinkListener の実行例 (SwingSet2 の実行結果より) (“Back” と “Forward” のイメージに使用)

25.10 HTML: <LABEL>

25.10.1 説明

<A> タグはリンクをはる、リンクの出発点・到達点を指定する。

25.11 XForms: <xforms:output appearance="anchor">

25.11.1 説明

<xforms:output>タグはフォーム上に文字やイメージを表示することを想定したタグである。

ただし、これを一般に言うリンクラベルで表現するかどうかは実装者の解釈に依存する。

Chiba では、<xforms:output appearance="anchor"> とすると外観がリンクラベルのようになる。

25.11.2 スクリーンショット

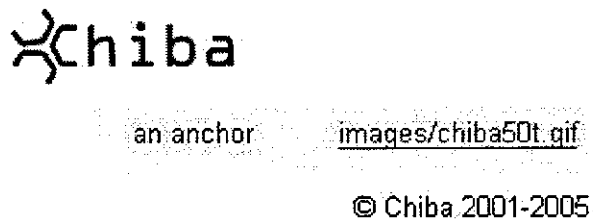


図 25.8 <xforms:output appearance="anchor">の実行例 (Chiba のサンプル実行画面より)

第 26 章

ステータスバー

26.1 概要

ステータスバーは、親フォームの下端に表示されるウィンドウで、アプリケーションの各種ステータス情報の表示に使うユーザーインターフェース要素である。

プラットフォーム	ツールキット	コントロール
Windows	Windows Controls .Net Windows Forms Visual Basic 6	Status Bars StatusBar StatusBar
Mac OS X	Carbon Cocoa	
X11R6	GTK+ GNOME Qt KDE	GtkStatusbar QStatusBar
Java	AWT Swing SWT	
Mozilla	Gecko	
Web	HTML XForms	

26.2 Windows Controls: Status Bars

26.2.1 説明

Statusbar は、親ウィンドウの一番下にある横長のウィンドウである。アプリケーションは、状況に応じてここにいろいろな情報を表示できる。

26.2.2 スクリーンショット

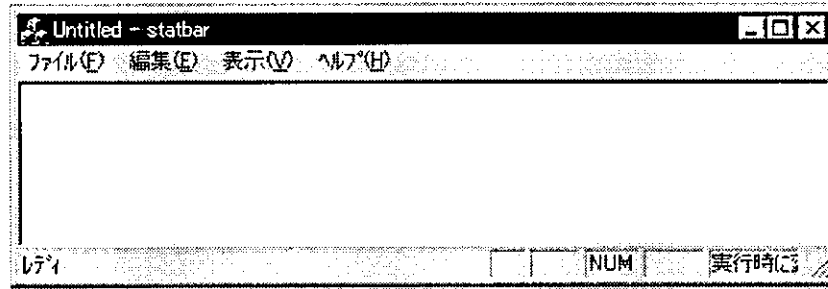


図 26.1 StatusBar コントロールの実行例

26.3 .NET: StatusBar

26.3.1 説明

StatusBar コントロールは、フレーム付きのウィンドウを使用してアプリケーションの現在の状態に関する情報を表示する。通常、親フォームの一番下に表示するよう設計する。

以下、.NET Framework 開発者ガイドより抜粋。

Windows フォームの StatusBar コントロールは、アプリケーションがさまざまなステータス情報を表示する、フォーム上の領域として使用します。通常は、ウィンドウの下部に表示されます。StatusBar コントロールには、ステータス バー パネルを含めることができます。ステータス バー パネルには、ステータスを示すアイコンを表示したり、連続する複数のアイコンを使用してプロセスが稼動中であることをアニメーション表示したりできます (Microsoft Word でのドキュメント保存処理の状況など)。

26.4 Visual Basic 6: Statusbar

26.4.1 説明

親フォームの下端に表示されるウィンドウで、アプリケーションの各種ステータス情報の表示に使う。

26.5 GTK+: GtkStatusbar

26.5.1 説明

GtkStatusbar は、さほど重要ではない情報やメッセージをユーザに報告するために使用する。

26.5.2 スクリーンショット

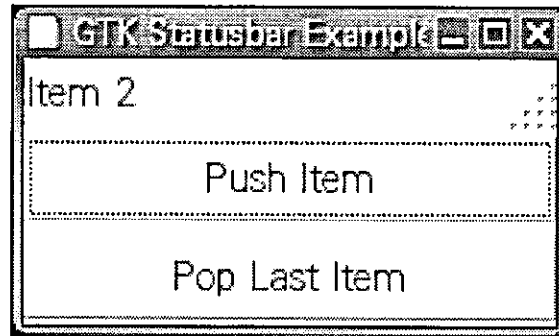


図 26.2 GtkStatusbar の実行例 (GTK+ 2.0 チュートリアルより)

26.6 Qt: QStatusBar

26.6.1 説明

QStatusBar は、状態を表示するための水平なバーである。

26.6.2 スクリーンショット

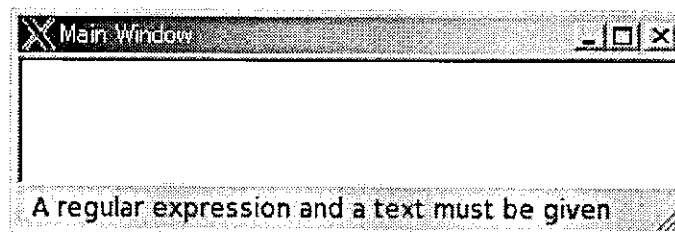


図 26.3 QStatusBar の実行例

第 X 部

一覧から選択するコントロールの比較

第 27 章

チェックボックス付きリストボックス

27.1 概要

プラットフォーム	ツールキット	コントロール
Windows	Windows Controls .Net Windows Forms Visual Basic 6	CheckedListBox
Mac OS X	Carbon Cocoa	
X11R6	GTK+ GNOME Qt KDE	
Java	AWT Swing SWT	
Mozilla	Gecko	
Web	HTML XForms	

27.2 .NET: CheckedListBox

27.2.1 説明

CheckedListBox コントロールでは、各項目の横にチェックボックスが表示されたスクロール可能な項目の一覧を表示する。

以下、.NET Framework 開発者ガイドより抜粋。

Windows フォーム CheckedListBox コントロールは、ListBox コントロールを拡張したものです。CheckedListBox コントロールでは、リストボックスで可能なほとんどの操作が実行でき、リストの項目の横にチェックマークを表示できます。それ以外に CheckedListBox コントロールと ListBox コントロールで異なる点は、チェックボックス付きリストボックスは DrawMode.Normal のみをサポートし、選択できる項目が 1 つまたは 0 となることです。選択した項目は、チェック状態の項目とは異なり、フォーム上で強調表示されます。

チェックボックス付きリストボックスには、文字列コレクションエディタを使用して実行時に項目を追加できます。また、Items プロパティを使用して、実行時にコレクションから動的に項目を追加することもできます。

27.2.2 スクリーンショット

Microsoft .NET Framework SDK クイック スタート チュートリアルサンプルの実行結果。

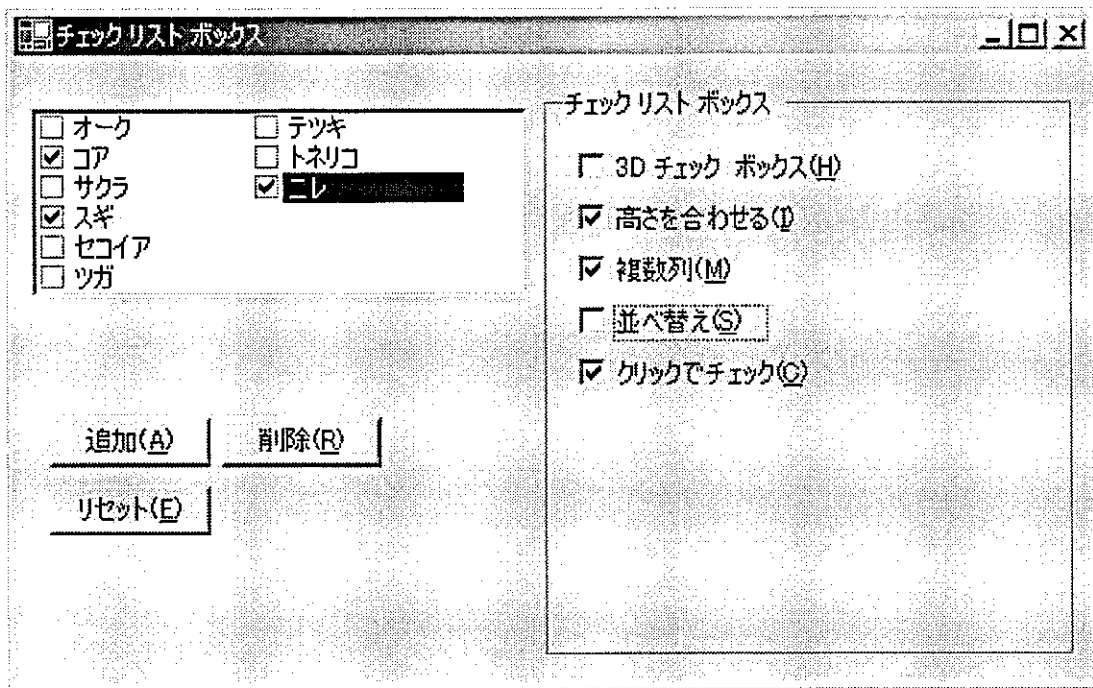


図 27.1 CheckedListBox の実行例

第 28 章

コンボボックス

28.1 概要

プラットフォーム	ツールキット	コントロール
Windows	Windows Controls .Net Windows Forms Visual Basic 6	Combo Box ComboBoxEx ComboBox ComboBox
Mac OS X	Carbon Cocoa	
X11R6	GTK+ GNOME Qt KDE	GtkCombo QComboBox KComboBox KHistoryCombo KFontCombo
Java	AWT Swing SWT	JComboBox
Mozilla	Gecko	nsComboBox
Web	HTML XForms	<SELECT> <xforms:select appearance="minimal"> <xforms:select1 appearance="minimal">

28.2 Windows Controls: Combo Box

28.2.1 説明

Combobox コントロールは、Listbox と Edit の組み合わせによるコントロールである。このコントロールでは、項目の選択と編集ができる。

ComboBoxEx はその拡張版で、イメージの表示ができる。

28.2.2 スクリーンショット

図 28.1 ComboBox コントロールの実行例

28.3 .NET: ComboBox

28.3.1 説明

ComboBox コントロールは、項目のドロップダウン リストを表示する。

以下、.NET Framework 開発者ガイドより抜粋。

Windows フォーム ComboBox コントロールを使用すると、ドロップダウン コンボ ボックスのデータを表示できます。既定では、ComboBox コントロールは 2 つの部分に分かれています。上の部分は、リスト項目を入力できるテキスト ボックスです。下の部分は、項目のリストが表示されるリスト ボックスであり、このボックスから 1 つの項目を選択できます。

28.3.2 スクリーンショット

図 28.2 ComboBox コントロールの実行例

28.4 Visual Basic 6: ComboBox

28.4.1 説明

ComboBox は、テキストボックス (TextBox) コントロールとリストボックス (ListBox) コントロールの機能を組み合わせたもので、項目の選択と編集ができる。

28.4.2 スクリーンショット

28.5 GTK+: GtkCombo

28.5.1 説明

GtkCombo は、ドロップダウン・リスト付きのテキスト入力フィールドである。

28.5.2 スクリーンショット

図 28.3 GtkCombo の実行例 (gtk-demo の実行結果より)

28.6 Qt: QComboBox

28.6.1 説明

QComboBox は、ボタンとポップアップリストを組み合わせたユーザーインターフェース要素である。コンボボックスは現在選択されているアイテムを表示し、可能な選択肢のリストをポップアップすることができる。またラインエディットを使ってユーザーに任意の文字列を選択させることもできる。

28.6.2 スクリーンショット

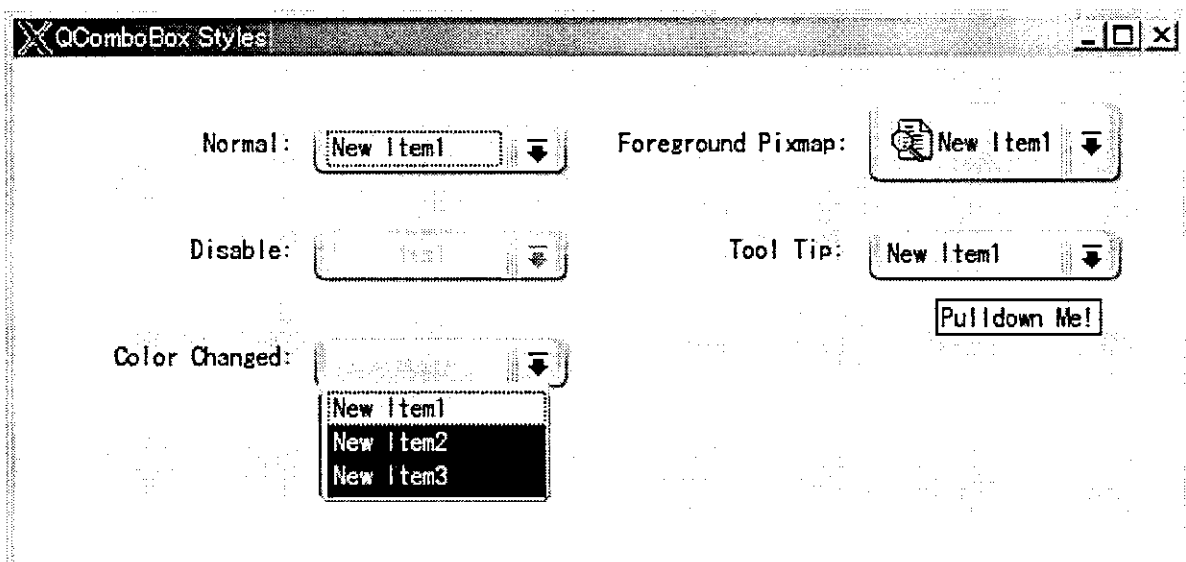


図 28.4 QComboBox の実行例

28.7 KDE: KComboBox, KHistoryCombo, KFontCombo

28.7.1 説明

KComboBox は QComboBox の KDE バージョンである。

KHistoryCombo は入力フィールドで過去の入力による補完を支援する。

KFontCombo はシステムにインストール済みのフォントリストをプルダウンする。

28.7.2 スクリーンショット

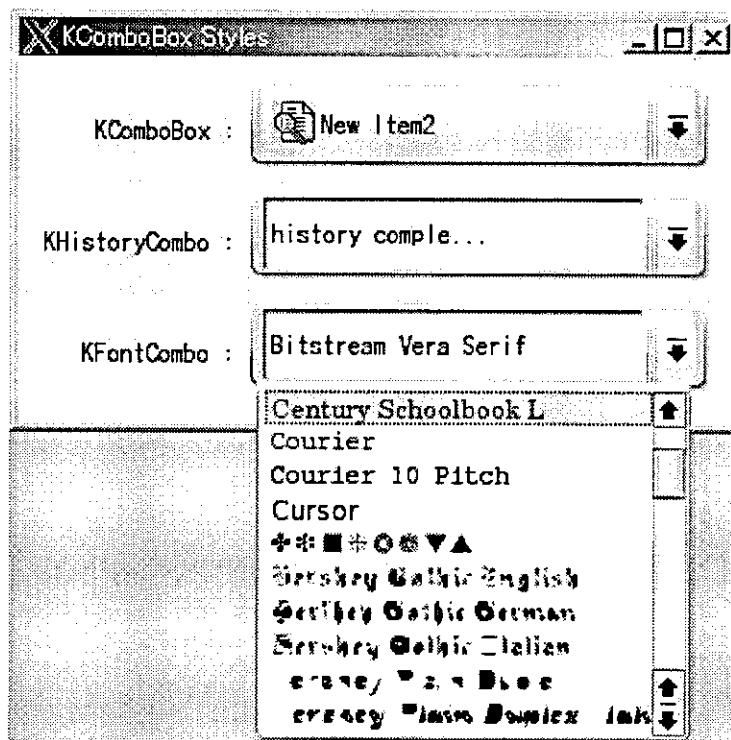


図 28.5 KComboBox などの実行例

28.8 Swing: JComboBox

28.8.1 説明

JComboBox は、ボタン、または編集可能フィールドとドロップダウンリストを組み合わせたコンポーネントである。